

2025年こそ内製化に一步踏みだす！

ツール選びから運用まで

セキュリティ診断の不安を解消！

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門でコンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。

その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイセキュリティラボに入社。

現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。

**「セキュリティ診断」
どうされていますか？**

セキュリティ診断の対策、どうされていますか？

セキュリティ診断の対策が必要な領域

外部に
委託する

自分たちで
なんとかする

できていない
やってない

「セキュリティ診断」境界で「よく聞くお悩み」

予算が限られている

人員も限られている



対策すべき範囲 **増**

必要な対策の幅 **増**

特に「DX」の進展によるデジタル接点の増加が「悩み」を深める



複数のWebサイト
やWebサービスを
提供している



Webサイトの
規模が大きい
(100画面以上ある)



機能改修や
サービス追加など、
リリース頻度が高い



| 実際には、やるか・やらないか、の2択になっているケースも多い

セキュリティ診断の対策が必要な領域

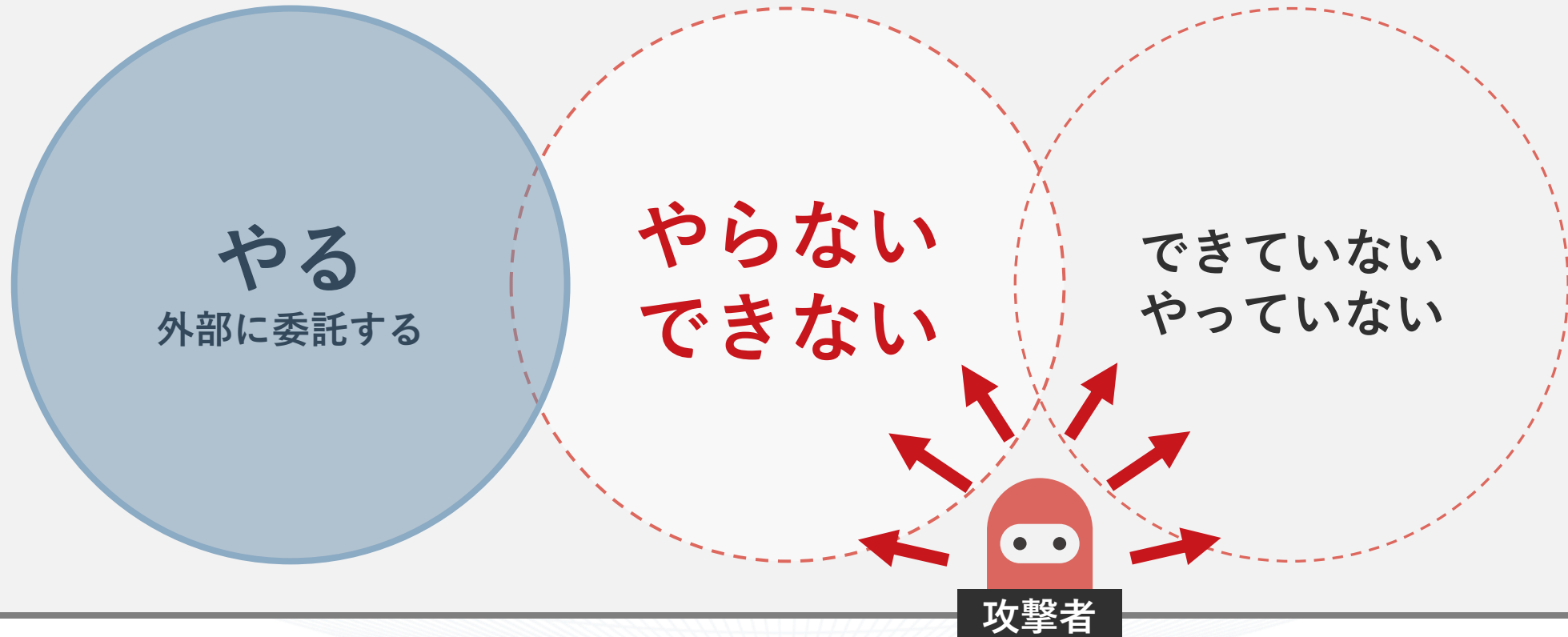
外部に
委託する

自分たちで
なんとかする

できていない
やってない

| 実際には、やるか・やらないか、の2択になっているケースも多い

セキュリティ診断の対策が必要な領域



｜ 皆様が思っていること

「内製化できればいいんだけどな…」



？

診断の品質を維持
できるだろうか？

？

コスト(費用・時間)
を抑えられるか？

？

社内メンバーで対応
できるだろうか？

 **AeyeScan** なら
内製化できるんです！

導入事例紹介

ミズノ様



企業名 ミズノ株式会社

事業内容 スポーツ用品の開発・販売ほか

従業員数 3,584人(2024年3月31日現在)

課題

国内だけでも約20 Webサイトを運営する中、定期的な脆弱性診断ができていなかった

具体的な課題

- 1 サイト立ち上げ時や大規模改修時だけしか診断ができていない
- 2 外部ベンダーによる脆弱性診断だと多額のコストがかかる
- 3 内部の人材のスキル不足・業務負荷が高くなる

グローバル全体でセキュリティポリシーを見直し、その中に定期的な脆弱性対策を含めたものの、外部ベンダーによる脆弱性診断だとコストがかかる。内製化を検討するもスキル不足や業務過多といった課題があることから、自分たちでも使える診断ツールの導入を検討。

導入

定額で複数サイトに外部ベンダーによる脆弱性診断と変わらないクオリティの診断ができると評価

導入の背景

- 1 専門知識を持たなくても簡単に操作できる
- 2 サイト数に比例して費用が増加しない
- 3 外部ベンダーによる脆弱性診断と同等の品質で診断できる

AeyeScanのトライアルを行い、簡単に操作できることを実感。また、同一サイトに対して、外部ベンダーによる脆弱性診断による診断とAeyeScanによるスキャンを並行して行いレポートを比較。AeyeScanの方が同レベル以上・検知項目が多かったことから、導入を決めた。

効果

定期的な診断が可能な体制が整った。
時間短縮により、
診断後の対策、チェックもスムーズに

具体的な効果

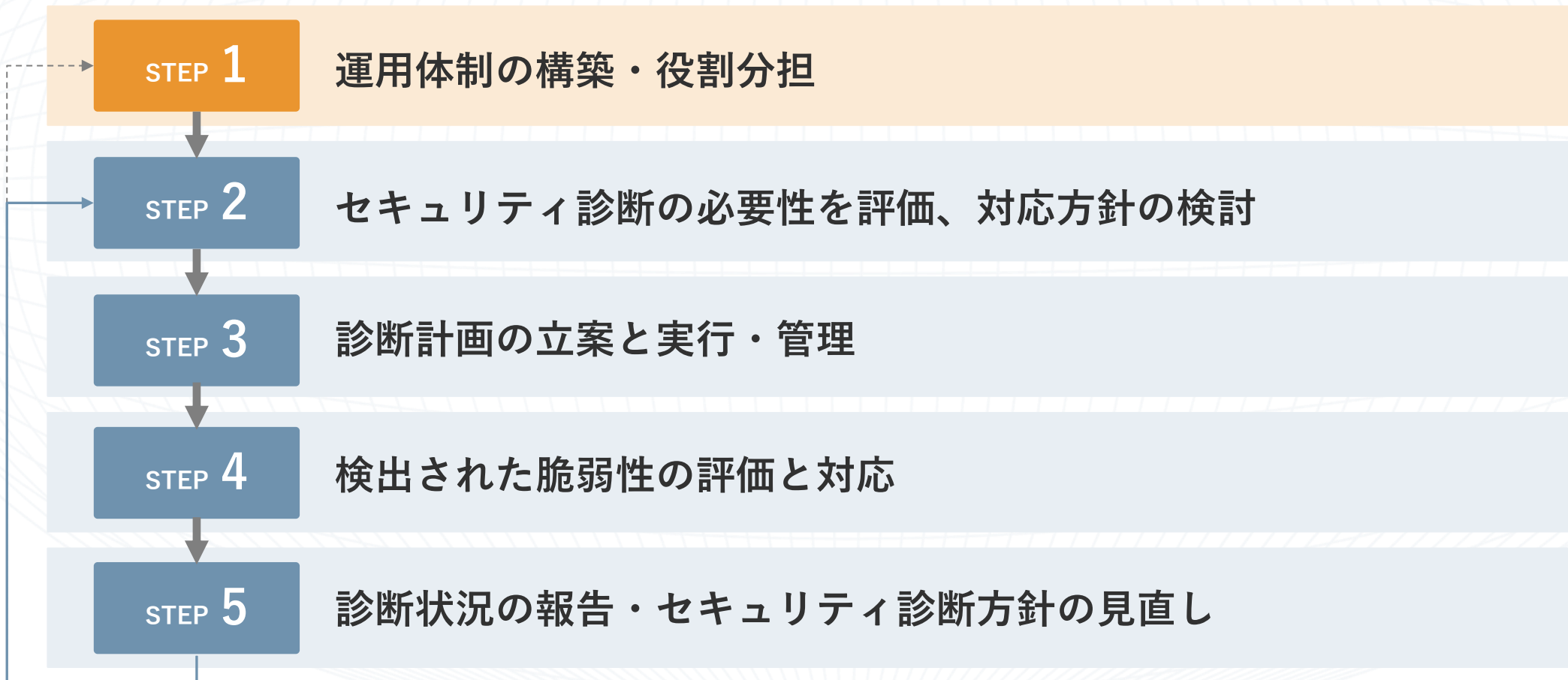
- 1 内製化により、診断にかかる時間が数ヶ月単位から数週間に短縮
- 2 診断、対策、チェックの運用がきれいに回している
- 3 開発ベンダーとのコミュニケーションもスムーズになった

外部ベンダーによる脆弱性診断では脆弱性への対応も含めて数ヶ月単位の時間がかかっていたが、数週間で診断を終えてすばやく対策できるようになった。レポートに具体的な修正方針も示されるため、開発ベンダーとのコミュニケーションもとれ、対策もスムーズになった。

セキュリティ診断「内製化」の 進め方・ポイント

セキュリティ診断「内製化」の進め方・ポイント

セキュリティ診断の内製化は、STEP 1～5の段階に分けて考えることができます。

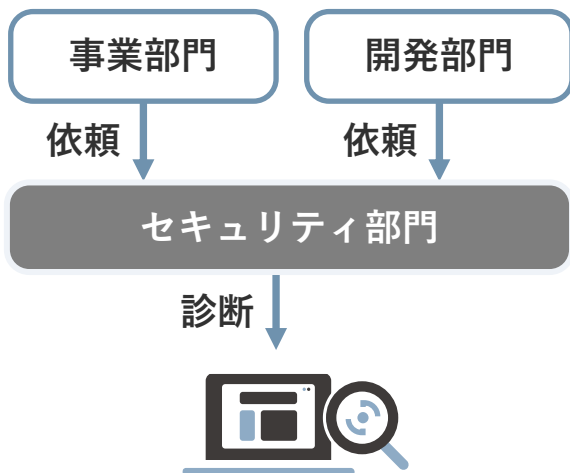


STEP 1

運用体制の構築・役割分担

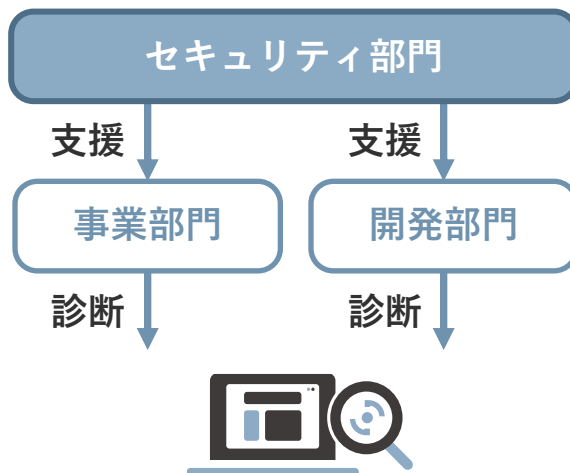
従来の運用体制

セキュリティ部門が
まとめて診断



これからの運用体制

事業部門・開発部門が
セキュリティ診断を
実施できる体制を構築



メリット

- ✓ シフトレフトの実現
- ✓ 診断対象の的確な把握
- ✓ セキュリティ意識の醸成

STEP 2

セキュリティ診断の必要性を評価、対応方針の検討

スコープを明確にし、**優先順位・必要を評価して対策の濃淡をつける**ことが重要

診断対象の棚卸し



診断の必要性を評価

- 取り扱っている情報の重要度
- ビジネス上の重要度
- 監督官庁・業界団体のガイドライン
- リリース・アップデート頻度(開発体制)



対策方針の検討

診断方法

- 外部委託
- 社内診断(内製化)

診断タイミング

- 新規リリース
- 改修・追加開発
- 定期診断

STEP 3

診断計画の立案と実行・管理

Webサイト・Webアプリを**開発している部門との情報連携・協業**が「ミソ」



診断計画を立てる

○ リリース前の診断

開発プロジェクトのキックオフ等に
参加し、スケジュールを事前に確認
しておく

○ 定期診断

実施時期を各プロジェクトと
事前に調整しておく



診断の実施準備をする

○ 開発部門と情報連携し、診断要件を確認する

脆弱性診断実施問診票			
この問診票は、脆弱性診断を実施いただくにあたり、確認・調整が必要な項目を事前にご対応いただくことを目的としております。 この問診票は、貴社内でご利用いただくもののため、エアアイセキュリティラボへの送付は不要です。			
Title		回答記載欄	説明・対応
体制・基本情報			
1	●● 診断対象サイト名		スキャンを実施する対象サイトを特定してください。 一部AeyeScanで対応できないサイトがあります。は「No28.注意事項」をお読みください。
2	●● サイト担当者①	部署名 氏名 メールアドレス	AeyeScanの利用中にサーバへ影響が発生した場合、サイト担当者へ連絡を行うために 診断対象サイトの運用をご担当されている方もしくは窓口の方の連絡先を記載してく ださい。
3	サイト担当者②	部署名 氏名 メールアドレス	サイト担当者①とご連絡がつかない場合のお問合せ先を記載してください。
4	●● 診断実施担当者①	部署名 氏名 メールアドレス	AeyeScanの設定を依頼する、診断の一時中断を依頼する等の連絡を行うために、 診断を担当される方（AeyeScanを操作される方）の連絡先を記載してください。
5	診断実施担当者②	部署名 氏名 メールアドレス	診断実施担当者①とご連絡がつかない場合のお問合せ先を記載してください。
スケジュール			
6	日程	XX月XX日～XX月XX日	診断スケジュールの目安は下記の通りです。 ・24時間アクセス可能な場合：3～5日程度 ・8時間アクセス可能な場合：5～15日程度 ※サイトの規模やサイトからの応答速度により増減する場合があります。
7	●● 診断スケジュール	曜日 ■平日・土日祝 □平日 □その他()	診断実施可能な曜日をご記載してください。
8	時間	■24時間 □10:00-18:00	診断実施可能な時間帯をご記載してください。 特定の時間にサーバを停止するなど、アクセス負荷の時間帯があれば、その他として詳

STEP 4

検出された脆弱性の評価と対応

評価の理由・根拠(特に対処不要とした場合)と、**対応履歴を残しておくのが大事**

診断結果の確認

修正対応の必要性を評価

- CVSS等の深刻度
- 発生しうる被害・リスクの大きさ
- 修正にかかるコスト(工数・費用)
- リリースまでに残された時間

など

対策方針の検討

- リリース前に必ず修正する
- 次回リリースまでに必ず修正する
- 大規模修正で修正
- 現時点では対応不要

なんやかんやありましたが…

セキュリティ診断を内製化するなら！

生成AI時代の脆弱性診断なら AeyeScan

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※

※富士キメラ総研調べ「2023ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
(Webアプリケーション脆弱性検査ツール(クラウド)2022年度実績)

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2024」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア (2022年度実績)

有償契約
200社以上



AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。



わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

| AeyeScanが選ばれている理由

プロが認める機能・性能

×

いつでも・誰でも使える

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



インフラ



金融



メディア



エンタメ



SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



生成AIの活用による高度な自動化を実現

オプション機能

1 診断設定がさらにカンタンに

- ・フリーフォーマットでの指示



特許 第7320211号

2 巡回がより柔軟に進化

- ・多言語対応
- ・フリーフォーマットでの指示
- ・画面の自動類似判定



特許 第7348698号

4 高度なレポート出力も可能に

- ・診断結果を元に総評を生成

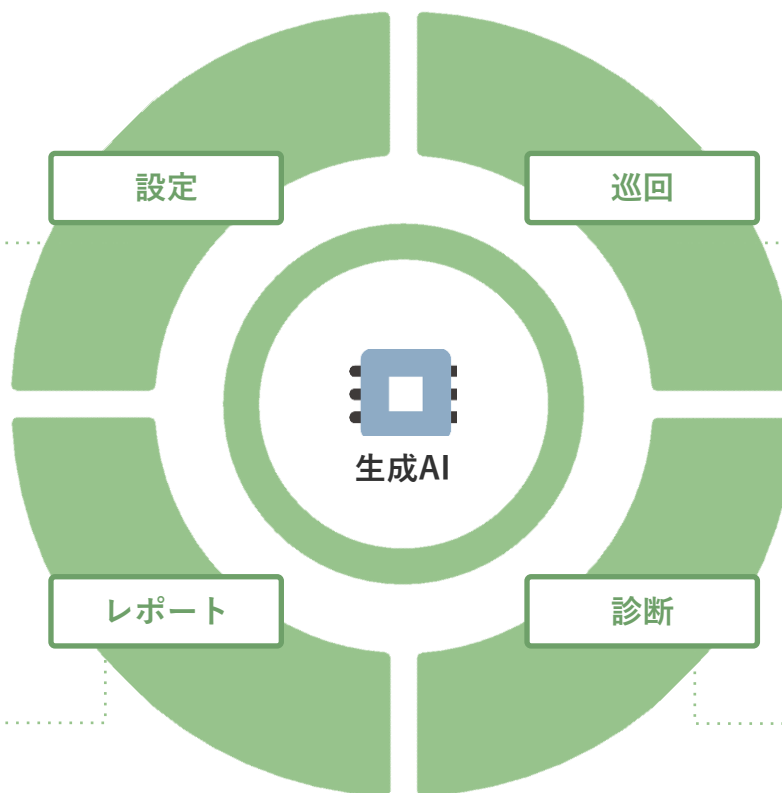


3 手動で診断していた項目にも対応

- ・パラメータの用途を推測
- ・セッションIDの規則性を解析



特許 第7344614号



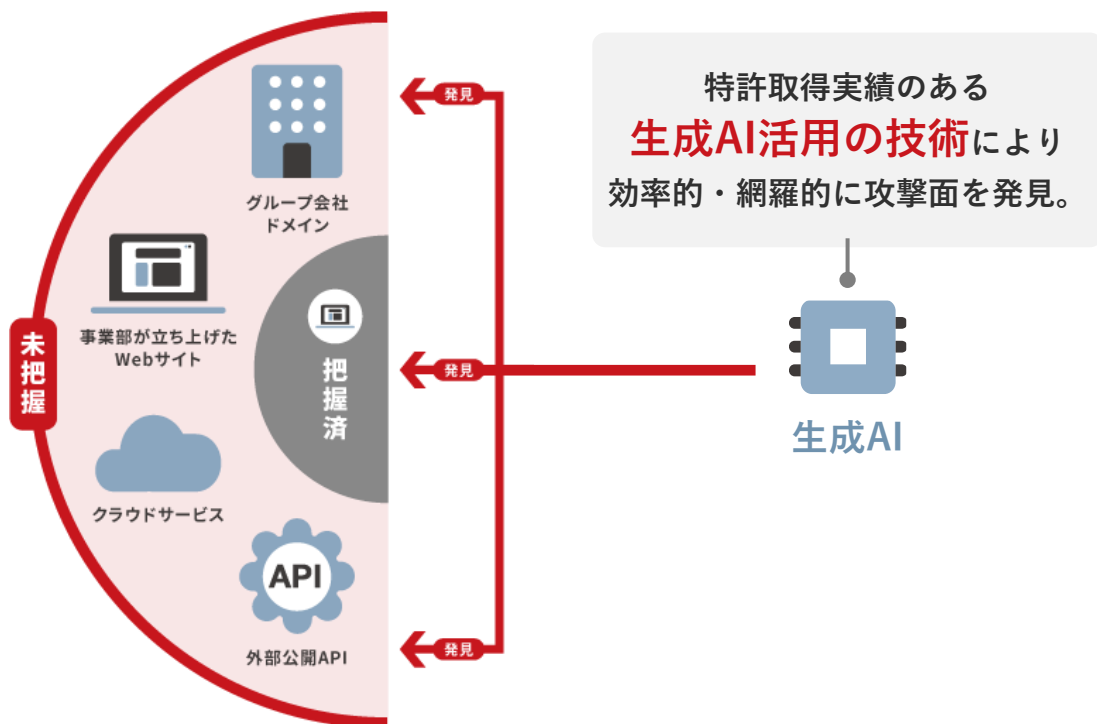
生成AI活用で、工数をかけずにWeb-ASMを実現

オプション機能

Web-ASMとは？

未把握な攻撃面の継続的な発見・リスク評価※

※リスク評価：AeyeScanのスク্যানによる



Web-ASMの実施ステップ

1

攻撃面の
発見



Web-ASM機能

自社が保有している
ドメイン一覧を抽出

2

攻撃面の
情報収集



自動巡回

未把握のドメインを
巡回対象に追加

3

攻撃面の
リスク評価



脆弱性診断

管理対象の全ドメインに
脆弱性診断を実施

AeyeScan ひとつで、

より網羅的な脆弱性診断とリスクマネジメントが可能に！



期間
限定

Web-ASM機能オプション 利用料金50%OFFキャンペーン

内容

Web-ASM機能オプション利用料金を初回契約分50%OFFでご提供いたします。

適用対象

- 2025年3月31日(月)までに株式会社エーアイセキュリティラボにご発注いただいたものが対象です。
- AeyeScan Businessライセンスをご契約中または2025年3月31日(月)までに新規で利用開始いただいていることが前提となります。

申込方法

「Web-ASM機能」お問い合わせフォームまたは弊社担当までご相談ください。

▶ お問い合わせフォームはこちら <https://www.aeyescan.jp/form/web-asm/>

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



次

回

予

告

いま進めるべき

脆弱性対策への

生成AI活用

— 診断からASMまで、セキュリティの現場を変える「精度アップ」の最新事情 —

2025 **2.6** [木]  リアルタイム配信
16:00-16:30アーカイブ配信 **2.13** [木] 8:00 - **14** [金] 22:00株式会社エーアイセキュリティラボ
執行役員

関根 鉄平 CISSP AeyeSecurityLab



AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。